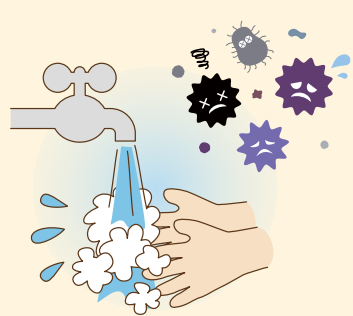




いったんインフルエンザの流行が始まると短期間に感染が広がります。この時期はまだまだインフルエンザが油断できません。ワクチンをした人も、していない人も、感染を予防するために「手洗い」「マスク着用」が大切です。外出先で様々なものに触れた私たちの手指にはインフルエンザのウイルスが付いている可能性があります。それを取り除くために手洗いやアルコール手指消毒剤による手指の消毒は、インフルエンザを予防するための有効な方法です。また、インフルエンザに感染した人がく



しゃみや咳で出すつばの中にはインフルエンザのウイルスが多く含まれています。人ごみの中ではそのウイルスが口や鼻から入り込む可能性があり、不織布製のマスクを着用することで、ある程度それを防ぐことができますと考えられています。感染拡大の防止のため、インフルエンザにかかった人はマスク着用で「咳エチケット」、ウイルス量が減るまで最低でも5日間は外出を控えましょう。



Hospital News

● 平成29年12月9日(土)に「東播磨圏域における新型インフルエンザ対応訓練」を行いました。



● 平成29年12月23日(土)にクリスマスフェスタ2017を開催しました。約1,500人の方にご来場いただきました。



● 健康教室を開催します。

日時: 3/17(土) 14:00~15:30
場所: 光(きらり)ホール
講師: 外科/消化器外科 主任科部長 金田 邦彦 他
テーマ: 「知っていますか? 癌の治療」



● 人間ドック 情報

① 1日ドック

3月・4月は比較のご予約が取りやすくなっています。春になり新しい生活がはじまる時期に健康チェックをお勧めします。

健康応援価格
39,800円(税込)
〔通常価格 43,200円(税込)〕



対象

- 3月・4月に「1日ドック」を受診される方
- 加古川市の国民健康保険、健康保険組合等の助成を受けていない方

② メモリードック(認知症ドック) 開始

認知症は、早期発見・治療により進行を遅らせたり、ある程度改善させることができます。物忘れが気になる方、ご家族に認知症を心配されている方に受診をお勧めします。

詳しくはTEL 079-451-8703(直通)
〔平日(10:00~17:00)〕にご連絡ください。
またはホームページをご覧ください。

加古川中央市民病院 人間ドック

検索



地方独立行政法人 加古川市民病院機構
加古川中央市民病院

〒675-8611 兵庫県加古川市加古川町本町439番地
TEL: 079-451-5500(代表)
http://www.kakohp.jp/

受付時間
診療受付時間…(月~金)
8:00~11:00
診療時間…(月~金)
8:45~17:00
休診日…土曜日・日曜日・祝祭日
年末年始12月29日~1月3日

つつじ

2
2018

ご挨拶~平成30年度に向けて~

加古川市民病院機構 理事長 おおにし よしお
加古川中央市民病院 院長 大西 祥男



加古川中央市民病院が開院してから1年7か月が経ちました。この間、地域の皆様には病院に対して、温かいご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

平成29年度は、開院後のあわただしい時期から少し落ち着きを取り戻し、堅実に診療機能の確保に努めた1年であったように思います。来たる平成30年度は、診療報酬・介護報酬をはじめ様々な医療介護政策の変革の年となります。環境の変化に即応しながら診療機能の一層の充実を図り、地域の皆様に信頼していただける医療を提供していきたいと考えております。どうぞ、よろしくお願いいたします。

今回のつつじ2月号では、「血管内治療」をテーマにいたしました。心臓から送り出された血液は、頭の先から足の先まで張り巡らされた血管を通して全身へ酸素と栄養を運びます。この大切な血管が詰まったり、破けたりしますと重大な障害が発生してしまいます。当院では心臓疾患の治療は勿論、全身の血管の治療ができる体制を取っています。薬による治療、カテーテルによる風船治療、ステントやコイルを使った治療、外科的治療など最新の治療を含めてご紹介しておりますので、ご心配の方がおられましたら、どうぞご相談ください。

いのちの誕生から
生涯にわたって
地域住民の健康を支え――



特集 血管内治療



頼られる病院で
あり続けます――



血管内治療

血管は私たちの体に張り巡っています。そのため、血管が悪くなると、体の至るところに症状が出ます。30診療科を有する当院は、あらゆる場所の血管の病気を診ることが出来ます。今回は、各診療科で行っている「血管内治療」についてご紹介します。

循環器内科



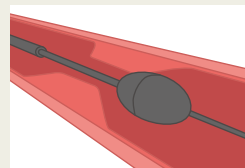
心臓血管センター 副センター長
(兼)循環器内科 科部長
(兼)医療安全担当課長
かどむち まこと
角谷 誠

動脈硬化の治療としては、血管内の硬いところを削る「**ロータブレード**」、レーザーを当ててプラーク(脂質のかたまり)や血栓を散らす「**エキシマレーザー**」などを行っています。

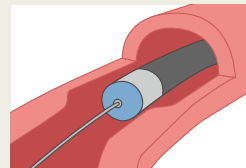
足の動脈が狭くなったり詰まったりして血流の流れが悪くなる「末梢動脈疾患」治療としては、足の動脈の狭くなったところを風船やステント(網目状の小さな金属製の筒)で広げて、歩行時や安静時の足の痛みを改善したり、足の静脈が血の塊で詰まる深部静脈血栓症に対しては詰まった足の静脈に直接カテーテルを挿入して、血の塊を薬で溶かして足の腫れをすみやかに改善したりします。

狭くなった冠動脈を血管の内側から拡げる治療としては、ステント治療のみならず血管が狭くならないよう予防する薬を血管の壁に塗ることができる「**薬剤溶出性バルーン**」を用いたりしています。

当科では以上のような、「**からだを切ることなく血管からのアプローチ**」で、よりからだに負担の少ない血管内治療を積極的に行っております。さらに循環器内科、形成外科、心臓血管外科、看護師らと「**フットケアチーム**」を結成し、多方面からのアプローチも行っております。

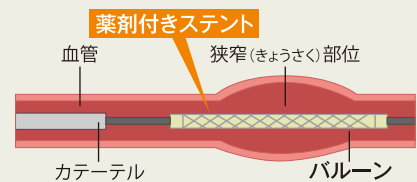


ロータブレード

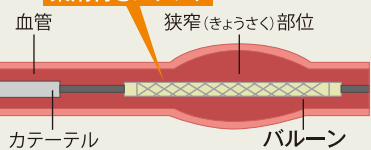


エキシマレーザー

診療実績 (2016年7月～ 2017年3月)	経皮的冠動脈形成術 (狭くなった冠動脈を血管の内側から広げる術式)	393件
	経皮的四肢動脈形成術(末梢動脈疾患治療の術式)	169件
	カテーテル血栓溶解療法(末梢動脈疾患治療の術式)	7件



薬剤付きステント



カテーテル

バルーン



静脈瘤

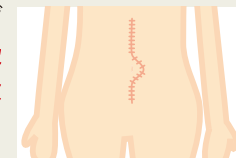
心臓血管外科



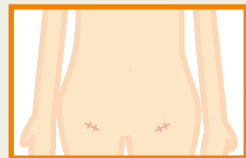
心臓血管センター長
(兼)手術部副部長
(兼)心臓血管外科 科部長
わきやま ひでたか
脇山 英丘

【腹部大動脈瘤の治療】

開腹による人工血管置換術とステントグラフト内挿術の二つの方法があります。**ステントグラフト治療**は脚のつけねに2か所小切開をおいて動脈瘤内にカテーテルを進めレントゲン装置を使用して大動脈瘤内にステントグラフトを留置します。開腹しないために**呼吸や循環に与える影響が少ない、創痛が少ない、手術後すぐに食事が再開できる**、などメリットがあります。



開腹による手術創

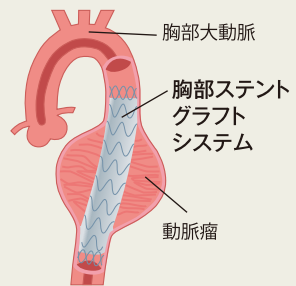


ステントグラフトによる手術創

【胸部大動脈瘤の治療】

人工心肺装置を用いた開心術とステントグラフト治療があります。心機能や呼吸機能が良くない方、高齢で開胸手術に向かない方には**ステントグラフトは低侵襲(からだに負担が少ないこと)で有効な治療**となります。

大動脈瘤と血管の関係によりステントグラフトに適した症例とそうでない症例があります。心臓血管外科専門医が患者さんに適した治療方法をアドバイスさせていただきます。



胸部大動脈

胸部ステントグラフトシステム

動脈瘤

脳神経外科



脳神経外科 科部長
きくち けいじ
木戸 慶司

脳血管内治療とは頭皮や頭蓋骨を切ることなく、脳の病気に対して血管の中から到達する治療法です。足の付け根や腕の血管などからカテーテルを挿入し、大動脈を通じて脳血管まで進めていき、様々な道具や薬品を用いて病気を治療します。

多くの疾患が脳血管内治療の対象となりますが、主に金属コイルや接着剤などを使って病変部を閉塞し、出血を防ぐ手術(脳動脈瘤や解離性動脈瘤、脳血管奇形などに対する塞栓術)と、狭くなった血管を広げたり詰まった血栓を除去して血液の流れを改善し、脳梗塞を防ぐ手術(頸動脈狭窄症や脳動脈狭窄症に対するステント留置術、あるいは血栓除去術など)に大別されます。手術手技に加えてカテーテル、コイル、ステントなどの道具は日々進化を続けており、対象疾患が拡大し治療成績が向上してきています。

この治療法の利点は、

- 開頭を要する外科手術に比べて、**体に加わる負担が非常に少ない**。
 - 術後の回復が早い**ため、入院期間が短い。
 - 開頭手術では到達困難な脳の中心部分にも、**周辺の脳に影響を与えず到達**できる。
 - 手術に要する時間が短く**、病気によっては局所麻酔でも施行できる。
- などが挙げられます。先に挙げた病気の多くはMRIで見つけられるので、脳ドックの受診をお勧めします。



治療により、留置されたコイルの塊

形成外科



形成外科 主任医長
いわた ひろあき
岩谷 博篤

【静脈瘤の治療】

静脈瘤とは下肢の静脈の弁が壊れて、血液が逆流しやすい状態になったもので、足の血管がこぶのように膨らんだ、足がつる、むくむ、疲れやすい、皮膚が変色した、かゆい…これらは下肢静脈瘤の症状です。静脈内レーザー治療とは、静脈の中に細いレーザーファイバーを通して、レーザーの熱によって静脈をふさいでしまう方法で、静脈内から静脈をふさいで血の流れをなくしてしまいます。傷口もない「**低侵襲治療**」と呼ばれる**体に優しい治療**です。他の治療法としては、ストッキングなどの圧迫療法、硬化療法、高位結紮(こういけっさつ)手術、ストリッピング手術があり、当院は症状・エコーなどの各種検査を評価し、**それぞれの患者さんに最適な治療**を行っています。



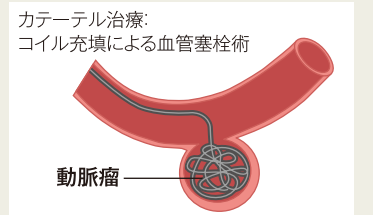
放射線科



放射線科 医長
さかもと のりあき
坂本 憲昭

放射線科は、頭部や心臓以外の血管内治療を担当しています。肝臓がんや子宮筋腫の栄養動脈に対する**兵糧攻めのがん治療**や、大けがでの大出血や産後出血あるいは喀血の**止血術**、さらに肺や胃、脾臓、腎臓などにできた**血管のこぶ(瘤)に対しての血管塞栓術**などです。肩やお腹の血管の傷を内側から補強するステントグラフト治療も可能です。ほか**CT画像を元に、腫瘍細胞をとる針の診断**や、**腹や胸にたまった膿を取り除く治療**、骨の転移に直接薬を入れる**椎体形成術**等も行っています。

その他、循環器内科や心臓血管外科が担当される、狭くなった肩や足の血管をひろげる治療や、大動脈のこぶについてのステントグラフト治療もお手伝いしています。



カテーテル治療:
コイル充填による血管塞栓術

動脈瘤

かかりつけのお医者さんにご相談を

体調に不安があり、治療についてもっと詳しく相談したいなどの場合は、まずはかかりつけの先生にご相談ください。当院では、かかりつけの先生としっかり医療連携を行い皆さんの健康を支えます。



かかりつけ医

強い
医療連携



加古川中央市民病院